

# 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

<b>団 体 名</b>	特定非営利活動法人チャレンジサポート北海道			
<b>事 業 名</b>	第2回小樽マッピングパーティーの開催			
<b>実施期間</b>	6月～2月のうち土日祝日の合計4日間			
<b>事業の目的及び期待する効果</b>	本事業では「小樽マッピングパーティー」を行う。 <u>市民が地図の作成を学ぶことで、地図を用いた情報発信を行えるようになることを目的としている。</u> 作成されたWeb地図を共有化することで、二重投資を防ぐことができ、 <u>市民のまちづくりや観光事業などが効率化される効果</u> が期待される。またWeb地図は海外でも利用されるため、インバウンド顧客に対しての基礎的な資料としての効果も期待される。			
<b>実施額</b>	事業費	200,120 円	助成額	190,140 円
<b>事業内容</b>	<p>① 街歩きマッピングパーティー(実行済)</p> <p>このイベントは、去年の室内で小樽の地図編集を行う企画(室内マッピングパーティー)の街歩き版として行うものである。手法としては街中を歩いて現地調査し、スマホからお店の名前などを入力することで、地図の属性情報を入力していくものである。今回は、主なエリアとして花園商店街のあたりの入力を行った。</p> <p>②室内マッピングパーティー(今後実施予定)</p> <p>このイベントは、去年行ったものと同様のものを企画しており、冬季は寒いので室内で建物編集することを目的としたイベントになる予定である。当初は12月に行う予定であったが、2月中の実行でリスケジュールを行っている。</p> <p>③Webによる小樽地図編集をうながす活動(中止)</p> <p>このイベントはWeb上で地図編集を呼びかけるサイトを立ち上げることで、小樽地図の充実化を狙うことを目的としていたが、オープンストリートマップを管理している財団日本支部との調整が難航したため、今年度は実行を断念した。</p> <p>④Mapillary データ取得事業(一部実施)</p> <p>本イベントは、360度カメラによる道路撮影を行い、地図更新と行政・街づくり事業者への支援となるような資料作成を目指すものであった。企画提出時点では日本での実績があまり無い上、手法が技術的に確立されていないことから、研究開発が必要なチャレンジングな企画であった。</p> <p>今年度の流れとしては、「手法の研究開発→試験撮影走行→イベントによる説明会」ということを想定していたが、思ったよりも手法の研究開発に手間取ったため、本来個別のイベントとして予定していたものを、2月17日の室内マッピングパーティーの中で成果発表という形で代替する予定。360度撮影画像を地図作成の資料として使うという想定もあり、この中でセッションを行いたい。</p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
10月27日	街歩きマッピングパーティー	20人	15人
2月17日	室内マッピングパーティー	20人	10人
中止	Webによる小樽地図編集をうながす活動	50人	-
11月23日・12月8日	Mapillary データ取得事業	10人	3人

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

①全体的な進捗について

今回の企画は技術的に未開拓なものを含むチャレンジなものであったが、結果として当初予定通りの実行ができていない。予定通り出来なかった要因としては、7月の台風9月の地震など、例年に無い規模の災害対応により本業に多くの時間を割かなければならないメンバーがおり、急を要する事象が重なったため、予定していたスケジュールを遂行できなかった。

このような状況であったため、企画全体を中止することも考えたが、一部準備を始めていたこともあったため、可能な限り行うこととした。

②街歩きマッピングパーティー

20名募集の中15名の参加となったが、小樽市民は数名程度でほとんどが市外からの参加者となった。参加者は観光して楽しみながら地図作りに参加した。はじめて行った企画としてはまずまずの参加者であり、数百ポイントの情報を入力できたことから、達成度としては合格点と考えている。

③Webによる小樽地図編集をうながす活動(中止)

SNSで編集を呼びかけるなどの活動は継続して行ったため、去年の2月イベント直後よりも地図は更新されている。

④Mapillary データ取得事業

50km程度試験撮影走行を行い、画像は、現在アップロードされCCBYにて誰でも見ることができる画像として提供されている。成果の報告と撮影技術の解説は室内マッピングパーティーにて行った。

⑤室内マッピングパーティー

20名募集のうち10名の方が参加したが半分以上は、今回が初参加の人であった。多くのデータを編集し、地図の完成度を高めることができた。

1年間にわたる地図編集の活動の結果、建物データ数を18620個増加させることができ、ほぼ中心市街地は網羅されたことから、使える地図となった。

## 2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

### ①街歩きマッピングパーティー

参加者については、半分以上が前回参加したリピーターであった。オープンストリートマップのベテランも参加していたことから、チーム分けも初心者からベテランまでバランスよくすることができた。途中雨が降ったこともあり、予定の時間を切り上げての実行となったが、街を歩きながらの調査は楽しみながら行うことができ、満足度も高かったと考えている。

### ②Mapillary データ取得事業

試験撮影を行うために小樽市在住の人にお手伝いをお願いした。お手伝い頂いた人のうち1人は、この技術の新規性に面白みと可能性を感じ、結果的に 360 度カメラを購入し、小樽市内で起業するに至った。

### ② 室内マッピングパーティー

20 名募集のうち 10 名の方が参加したが半分以上は、今回が初参加の人であった。中には 80 歳以上の参加者もあり、年齢に関係なく楽しみながら、編集技術を学ぶことができたと思われる。去年度に引き続き参加している常連の方は、初心者に教えることで自分の技術を上げることが勉強になったと思われる。

## 3. 今後の事業について

次年度以降は、技術が確立できた Mapillary を中心とした企画にしたいと考えている。まちづくりや地図作成に関しては、現地画像が先に必要であるからである。

## 4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等